平成 18 年 11 月 8 日
8 November 2006

突風災害被災地区（佐呂間町若佐地区）周辺の地形的特徴

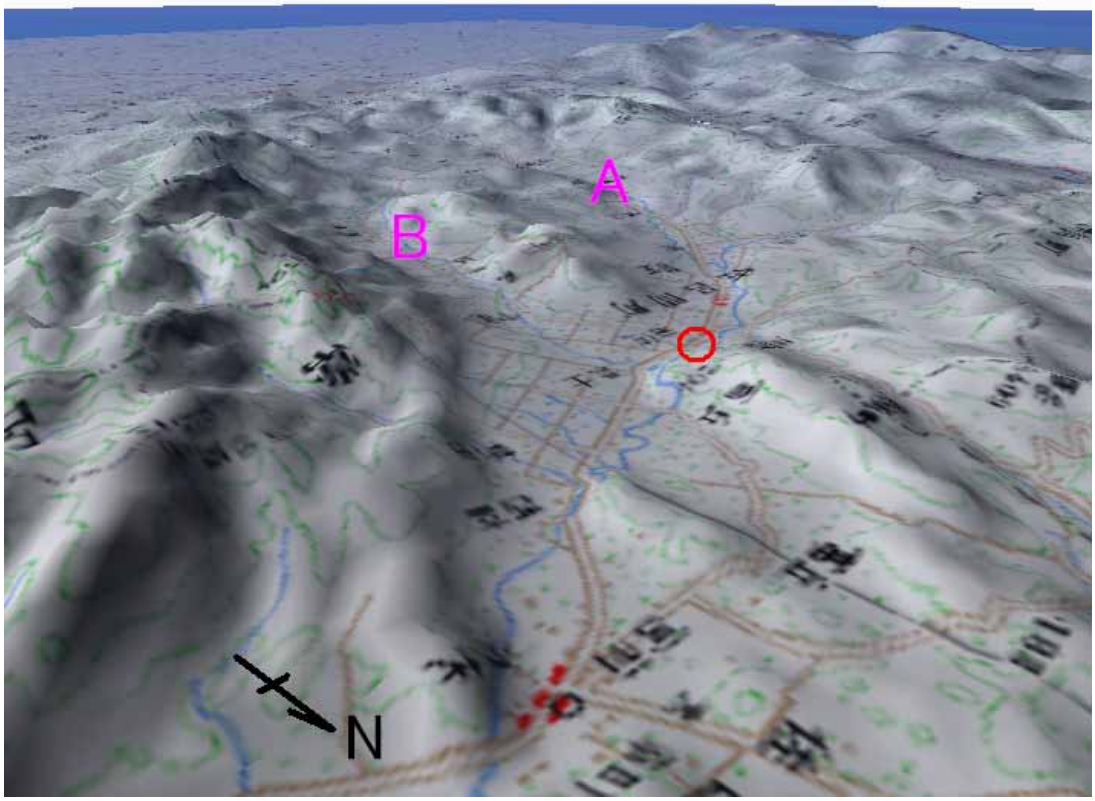
Geomorphological features in the area stricken by the 7 November 2006 strong wind, Wakasa, Saroma town, Hokkaido

国土地理院地理地殻活動研究センター
佐藤　浩・小荒井　衛
Geographical Survey Institute (GSI)
Hiroshi P. SATO, Mamoru KOARAI (fax: +81-29-864-2655)

平成 18 年 11 月 7 日 13 時 20 分頃 [1)]、突風災害で 9 人が亡くなる被害が発生した北海道網走支庁佐呂間町若佐は、佐呂間別川と武士川の合流点から約 1km 上流の国道 333 号線沿いにある集落である。数値地図（標高 50mメッシュ）と 20 万分 1 地勢図「北見」「紋別」とをソフトウェア・カシミールを使って組み合わせた画像を図―1 に示す。

地形的に見ると、佐呂間別川と武士川の集水域は、標高 400～800mの山地に馬蹄形状に囲まれ、両河川を分水する残丘状の標高約 400m以下の山地が南から北に向かって張り出してきており、その突端部のやや佐呂間別川の谷底平野が狭くなりかけている部分に当たる。

1) http://www.hokkaido-np.co.jp/Php/kiji.php3?&d=20061107&j=0022&k=200611074313



図―１　現地付近の鳥瞰図（国土地理院の 50m メッシュ DEM と数値地図 200000 を利用）.
赤丸：被災地区、A：佐呂間別川、B：武士川

Fig.1　Bird’s eye view of landform around the area (red circle) stricken by the strong wind.